

研究課題「網膜電図（ERG）により網膜中心静脈閉塞（CRVO）の虚血状態と予後を予測する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2013 年 1 月から 2017 年 12 月までに受診した、網膜中心静脈閉塞の患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

今回の研究の目的は、網膜中心静脈閉塞の患者さんを対象にしています。この病気で名古屋大病院を最初に受診した時に検査した網膜電図の結果により、網膜の血流状態をどの程度評価することができるのか、また 1 年後の視力や血流状態を予測することができるのかを解析することを目的としています。

今回の研究では、診療情報をもとに、網膜中心静脈閉塞症の患者さんに対して最初に検査で記録した網膜電図の結果と、造影検査で記録した網膜の血流状態を比べて、網膜電図の結果が網膜の血流状態によく関連するかどうかを研究します。また、網膜電図の結果が 1 年後の視力や血流状態を予測することができるのかを解析します。それらの予後予測が可能になることにより、この病気の最もよい治療法の選択が可能となり、これからの治療に役立つ情報になります。研究内容の詳細及び具体的な研究計画に関しましては、研究責任者まで問い合わせください。

調査は三重大大学附属病院と共同研究で行い、全体で 60 例（三重大では 30 例、名古屋大学が 30 例）を対象とします。

この研究に参加することで、あなたに特別な負担はありません。つまり、この研究に関わる費用については研究グループから負担します。また、当院での本研究は、眼科の奨学寄附金や科学研究費を使用します。

研究期間は、実施承認日 ～ 2019 年 12 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる情報は、病歴、治療歴、カルテ番号、治療前後に行った視力・網膜電図などの眼科検査の結果です。

本研究に用いる試料はありません。

4. 外部への試料・情報の提供

対象者のプライバシーを守るために、得られた情報は番号を割り当て、データは匿名化（対応表あり）で管理します。対応表は、ネットのつながっていない PC で管理し、個人情報管理者（小南太郎）が管理します。また、研究会や学会等で発表または出版する場合は、研究対象者個人が特定

されるような情報は使用しません。名古屋大学から主たる研究施設である三重大学にデータを送付する際は、連結可能匿名化し、対応表は各施設で保管します。

5. 研究組織

本研究は2つの施設による共同試験です。

(本研究における共同研究機関および研究責任者)

(主たる研究施設)

- ・ 三重大学医学部附属病院 眼科 近藤峰生

(分担研究施設)

- ・ 名古屋大学医学部附属病院 眼科 上野真治
- ・ 名古屋大学医学部附属病院 眼科 安田俊介
- ・ 名古屋大学医学部附属病院 眼科 小南太郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学病院 眼科

研究責任者：講師 上野真治

電話 052-741-2111

研究代表者：

三重大学医学部附属病院 眼科 教授 近藤峰生